

携帯電話基地局建設計画中止事例 2

「基地局計画が中止になった」とメールをいただいたので、ご相談者の許可を得てシェアします。

7月7日に設置を知らせる看板を見つけ、30日には着工する予定だったようですが、小さなお子さんがいるため健康影響を懸念し、町内会や行政に働きかけ、中止に至ったそうです。

当会としては、5G リーフレットと、資料を少々お送りした程度なのですが、お役に立って本当によかったです。

具体的なケースを紹介することで、同じ問題に直面している皆さんのお力になればと思います。

いのち環境ネットワーク
代表 加藤やすこ
2021. 7. 23.

ご相談者からのメール

7月16日、楽天モバイルから連絡があり、「Aさんの土地に建てる予定だった携帯基地局は、複数の周辺住民の反対があり中止する」と、楽天モバイル側が決めたとそうです。「住民トラブルは避けたい」とのことでした。

Aさんには楽天側から契約解除を進めていくので、Aさんと周辺住民とのトラブルにならないように、「匿名で複数の反対の声をうけたので中止する」と楽天モバイルが連絡をするそうです。

7月7日に看板を見つけ、私になりできることをすべてやったことが報われたようです。成功の秘訣は、加藤さんと繋がり、ネットで情報を集め、町内会長と連絡をとり、各団体（町内会・地区役員・育成会・市議会議員・市建築管理課・県建築課・東北総合通信局・楽天モバイル相談窓口）に問い合わせたのが良かったようです。周辺30メートルの住人と町内会長への説明だけで、この工事が進もうとしていたことを、東北総合通信局（総務局管轄）に直接訴えたことが、中止へと繋がったようです。

たまたま目の前に立つことで計画を知り、子育て期が多い世帯で、設置場所から30mの所に実家の貸家が入っていたため、中止を求めました。今回のことで5Gのこと、電磁波のことを深く学ぶことができました。資料にもあったように、私たちは情報を知り、その中で決断し、行動していく必要があるようで

す。個人的には看板設置を知ってから精神的にも孤独でした。家族や実家の両親は「騒ぎ立てるな」と私が動くことを良しとしませんでした。

目に見えないからこそ、将来どのような健康被害があるのか不安！という事実さえも、「気にし過ぎ」と片づけられてしまう世の中。真実を自分から探しに行かないと、見つけれない世の中だからこそ、「いのち環境ネットワーク」の存在は、私を励ましました。心より感謝いたします。

楽天モバイルとしては今後も携帯基地局を設置していく計画とのこと。（私の住居より 300m 範囲内は設置しない方向で）この地域は以前として候補地ですとのこと。この経験をもとに、以下の事も、町内会長さんと共有しました。
①契約前に町内会や隣組で話題にすること。（勧誘があった時点で隣組や町会長に相談してくれればいいのですが…実際は電柱にアンテナを立てるとの簡単な説明しかされていない。国が勧める公共事業ですからと言われれば、疑問も持たない事実。）

②50～100m 圏内は真下よりも、電磁波が強くなる（楽天モバイル側も認めていました）事実を伝え、100m 圏内の方には回覧板などで周知すること。

③5G 基地局を設置する前には、必ず説明会を開催すること。（催促すれば説明会を開催する意思はあるようですが、コロナ禍を理由に、問い合わせのあった方に個別に説明し収束する意図があるようです）

④基地局を望まない住民（妊婦や子育て期）には配慮すること。子どもには安全だと言うデータを出せないのであれば、計画を見送ってもらう。（WHO で安全だと言っていることを謳って、それ以上のデータは出さない。健康被害があっても因果関係なしとのこと）。

⑤万が一設置された場合は、将来的に 5G や 6G、これ以上に仕様が変更される場合は住民への情報開示と表示を求めること。まだまだ 5G の高い周波数については、健康被害を立証するのは困難なので、町内会や市や自治体で協議し条例を規制していくべきだと思いました。